

牧師所感： 孫の成長を見守る祖父

— 이 창호 (イー チャンホ) 長老 —

筆者には 韓国に、親しい キリスト者のお医者様がいらっしゃる。そのお医者様は老齢になられ、現役を退いておられるが、今もなお 老人医療に携わって働いておられる。

当のお医者様は、筆者の祖国では、キリスト教の諸団体の一つである“韓国聖市化運動本部”の重鎮として、働いておられる。

なお お医者様は韓国のキリスト教 長老派の長老様でもあられる。然るに 当人には、愛する長男の息子の“シンフン”と名乗るお孫さんがいる。当の長老様は、孫の“シンフン”君が可愛くてたまらない御様子！日本に居る筆者に 彼の将来の為に、神に祈ってくださるようにと頼まれた。

小生は何年前、韓国 大邱市で小学生の彼に会った。成る程、立派な凛々しい姿の少年であった。

さて、お祈りを頼まれた以上、祈らなければならない。それで 小生は一つの条件を出して 長老様に返事した。その条件とは、シンフン君が 毎日 旧約聖書の創世記 39 章を読むことを提案した。39 章以下は ヨセフについての記録である。

ところで 筆者は、“シンフン”君が 将来 立派な人となって、神を愛し、人々を愛する人になるように 祈っている。

ところが 昨日、メールが 長老様から送られてきた。シンフン君が、全国から選ばれるソウルの極東放送、子どもたち 300 人の聖歌隊の一人に選ばれたこと。来る 8 月 20 日～30 日迄、アメリカに遠征して、カーネギーホールで演奏し、ワシントン中央長老教会 その他で演奏することを伝えてきた。

ところで “シンフン”君の祖父の願望は、シンフン君が 将来 医者になり、沢山の人の命を救う人になることである。

ところが シンフン君の願望は、警察官、消防士になることが夢だと言った、とおっしゃった。

筆者は思う。消防士・警官は 危険な奉仕職であり得るので、犠牲の精神の所有者でなければ抱けない 博愛精神の所有者である。ゆえに 将来が期待される。

さて この消息は Good News だ。筆者がお祈りを頼まれた以上、“シンフン”君が 将来 神に仕え、人々に仕えられる人物になることを確信して 祈っている。

“シンフン”君に 幸いあれ と祈る。